

## I. 次の文章を読み、下記の問いに答えなさい。

イスラーム教は、ユダヤ教やキリスト教と並んで西アジアで生まれたもう一つの一神教であり、7世紀の初め、<sup>(a)</sup>アラビア半島の町メッカの商人であったムハンマドによって創始された。<sup>(b)</sup>彼は多神教を信じるメッカの人々の迫害を受けて622年にメディナに移住したが、のちにメッカを征服し聖地とした。ムハンマド亡き後、イスラーム勢力はメソポタミアやイラン高原をおさめていた  (1)  (2) 朝を滅ぼし、シリアやエジプトをビザンツ帝国から奪い、勢力を拡大した。

その版図を引き継いだウマイヤ朝では、少数の  (3)  (4) 人ムスリムが支配者となり、免税など多くの特権を享受した。<sup>(c)</sup>非ムスリムは税を支払うことで各々の信仰を保障されたが、<sup>(d)</sup>彼らがイスラーム教に改宗したとしても支配層と同等の特権は与えられなかった。しかし、アッバース朝の時代にはムスリム平等主義の原則がうちだされ、領土内の全ての民に  (5)  (6) が課されるとともに、改宗者は  (7)  (8) を免除された。この王朝において、中央ユーラシアで遊牧を生業としていたトルコ系の人々は兵力として重んじられ、 (9)  (10) 系の人々は官僚として多く採用された。このように、ムスリムであれば出身民族や階層に関係なく人材が登用されたため、改宗者の数は急増し、西アジアではイスラーム教徒が多数派を占めるようになる。また、<sup>(e)</sup>ムスリムの学者たちはギリシア語の学問を盛んに翻訳し、哲学、数学、医学などを発展させた。

中央アジアのアラル海東方から入ったトルコ系の人々のうち、セルジューク朝を建国した  (11)  (12) は、 (13)  (14) 派のブワイフ朝軍を破ってバグダードに入り、アッバース朝カリフから  (15)  (16) の称号を授けられた。 (17)  (18) 朝の宰相であった  (19)  (20) によって建国されたアイユーブ朝は、十字軍勢力に攻勢をかけ、1187年にはエルサレムを占領したが、1250年には  (21)  (22) 軍団出身者によって君主位を奪われた。

14世紀半ばにバルカン半島へ進出して南部を征服したオスマン朝は、15世紀には  (23)  (24) を攻略してビザンツ帝国を滅ぼすと、この町を都とした。その後、オスマン朝は16世紀初頭にシリアとエジプト、ついでイラクや  (25)  (26) を征服し領土を拡大すると、多様な人材を活用して統治体制を確立した。直轄領では  (27)  (28) と呼ばれるトルコ系騎士に封土を配分して徴税権を与え、平時は農村の管理、戦時には兵士を率いて従軍させる  (29)  (30) 制を導入した。都市や郡単位では、法学者であるウラマーなどを  (31)  (32) に任命し、行政や司法を担わせた。バルカン半島では、キリスト教徒の優秀な農民子弟を  (33)  (34) 制によって徴発し、イスラーム教に改宗させたのちに急に訓練して  (35)  (36) と呼ばれる歩兵常備軍に配属したり、高級官僚として登用した。

他方で、南アジアに展開したムガル帝国では、アクバル帝の時代に  (37)  (38) 制と呼ばれる官僚制度が定められた。これにより、全ての官僚に序列がつけられ、位階に応じて給与と保持すべき騎馬の数が決められた。また、<sup>(f)</sup>ムガル帝国の支配者層にはヒンドゥー教徒の有力者も多く、宗教的には寛大な統治が行われていた。

このように、トルコ系の人々は西アジアで数多くのイスラーム王朝を打ち立て、<sup>(g)</sup>16世紀から18世紀初めにかけては、南アジアまでを覆う広大な範囲で強大な王朝が並びたったのである。

問1 文中の空欄 (1) (2) ～ (37) (38) にあてはまる最も適当な語句を下記の語群から選び、その番号を解答用紙A（マークシート）の解答欄 (1) ～ (38) にマークしなさい。

《語群》

11 アラブ	12 イェニチェリ	13 イクター	14 イラン
15 インド	16 ウルグ＝ベク	17 カズナ	18 カーディー
19 教皇	20 ゴール	21 コンスタンティノーブル	22 ササン
23 サマルカンド	24 ザミンダーリー	25 サラディン	26 シーア
27 シーク	28 ジズヤ	29 シパーヒー	30 スルタン
31 スンナ	32 大アミール	33 ダライ＝ラマ	34 ティマール
35 デヴシルメ	36 トウグリル＝ベク	37 ハラージュ	38 ハンガリー
39 ファーティマ	40 不可触民	41 ベルベル	42 ポーランド
43 マドラサ	44 マハラジャ	45 マムルーク	46 マンサブダール
47 ミレット	48 ムアーウィヤ	49 モンゴル	50 ユダヤ

問2 下線部（a）に関連して、預言者ムハンマドの出身一族の名前は何か。その名称を解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問3 下線部（b）に関連して、この移住の年を元年とするイスラーム暦を何と呼ぶか。その名称を解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問4 下線部（c）に関連して、ユダヤ教徒やキリスト教徒のように、ムスリムの支配地域において税の支払いを条件に信仰の維持や生命・財産の安全を保障された人々を何と呼ぶか。その名称を解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問5 下線部（d）に関連して、ウマイヤ朝において、異民族出身のイスラーム改宗者は何と総称されていたか。その名称を解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問6 下線部（e）に関連して、イブン＝ルシュドがその著作の注釈書を作ったギリシアの哲学者は誰か。その人物の名前を解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問7 下線部（f）に関連して、アクバル時代にムガル帝国と連携してその軍勢力の中核となったヒンドゥー教徒の集団を何と呼ぶか。その名称を解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問8 下線部（g）に関連して、この時代の三つのトルコ系王朝のうち、イランに建てられた王朝において、「世界の半分」と称された都の名前は何か。その名称を解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

## Ⅱ. 次の文章を読み、下記の問いに答えなさい。

南北戦争後、アメリカ合衆国は、共和党政権の保護関税政策に守られて工業が急速に発展し、19世紀末にはイギリスを追い抜いて世界一の工業国となった。鉄鋼業の (39) (40) , 石油精製業の (41) (42) , 投資銀行業の (43) (44) などによって独占体が形成され、巨大な財閥企業が出現した。

(a) このアメリカ経済の発展を支えたのは、ヨーロッパやアジアからの移民労働力であった。アメリカは、大量の移民を迎え入れて、急速な都市化・工業化が進行する中で、労働運動や農民運動が高揚し、1886年には (45) (46) が、1905年には (47) (48) が結成された。(b) 経済の独占化や社会的格差の拡大に対して、独占禁止の法律も制定されたが、あまり効果は見られなかった。

他方、国内市場の拡大に限界が見えてくると、アメリカも、海外市場を求める姿勢を強め、1889年に、 (49) (50) を開いて、ラテンアメリカ諸国への勢力拡大に力を入れた。共和党の (51) (52) 大統領の時には、(c) キューバ独立支援を理由として1898年に米西戦争を起し、スペインに勝利した。さらに、アメリカは、1898年に (53) (54) を併合して、ここを軍事上の要地とした。また、国務長官 (55) (56) は、門戸開放通牒を発して、中国の門戸開放、機会均等、領土保全を提唱した。

次いで、共和党の (57) (58) 大統領は、中米諸国に対して、(d) 武力干渉を伴うカリブ海政策を展開し、1903年にパナマを (59) (60) から分離独立させた。1914年には、カリブ海と太平洋を結ぶパナマ運河が開通し、民主党の (61) (62) 大統領は、以後、ラテンアメリカの軍事拠点化を推し進めた。また新自由主義の下、関税の引き下げや独占資本の弊害の除去に努めた。

1920年代のアメリカ経済は、繁栄の中で生産過剰の状態に陥った。1929年のウォール街での株価大暴落をきっかけに世界恐慌が勃発すると、共和党の (63) (64) 大統領は、恐慌がさらに拡大することを防ぐために、賠償と戦債の一年間の支払い停止宣言を出した。多くの国では、恐慌の過程で中間層が没落し、政治状況が不安定になった。

民主党の (65) (66) 大統領は、政府資金を使って銀行を救済し、ニューディール政策を推進した。政府統制のもとで、企業に生産や価格の規制をさせて産業の回復を図った (67) (68) や、農産物価格引き上げのために農民に補償金を支払って生産を制限させた (69) (70) などが制定された。さらに、1935年に、 (71) (72) を制定して労働者の団結権と団体交渉権を保障する一方、(e) 国民に対する福祉政策への転換も図った。また、労働者階級に対する保護政策を受けて、民主的な労働組合組織として、 (73) (74) が結成された。このように前政権の自由放任主義とは異なり、(f) 国家が積極的に経済に介入して景気回復を図る政策は、修正資本主義の端緒となった。

イギリスでは、恐慌の影響が広がる中で、挙国一致内閣を組織して、歳出削減、金本位制の停止など保護貿易政策を実施した。また、1932年に (75) (76) を開き、(g) 勢力下にある諸国を経済ブロックに囲い込み、その域外からの輸入に高関税をかけて、この危機を打開しようとした。こうして経済ナショナリズムが強まり、自国の利害のためには他国を顧みない自国中心主義の風潮の中で、世界は再び戦争に突入することになる。

問1 文中の空欄 (39) (40) ～ (75) (76) にあてはまる最も適当な語句を下記の語群から選び、その番号を解答用紙A（マークシート）の解答欄 (39) ～ (76) にマークしなさい。

《語群》

- |              |              |                   |            |
|--------------|--------------|-------------------|------------|
| 11 アメリカ労働総同盟 | 12 アラスカ      | 13 ウィルソン          | 14 オタワ会議   |
| 15 カーネギー     | 16 カリフォルニア   | 17 クライスラー         | 18 クーリッジ   |
| 19 コスタリカ     | 20 コロンビア     | 21 ゴンパース          | 22 産業別組織会議 |
| 23 ジャクソン     | 24 ジョン＝ヘイ    | 25 セオドア＝ローズヴェルト   |            |
| 26 世界経済会議    | 27 世界産業労働者同盟 | 28 世界労働組合連盟       | 29 全国産業振興法 |
| 30 全国産業復興法   | 31 タフト       | 32 ドーズ法           | 33 ニューコア   |
| 34 農業調整法     | 35 農業復興法     | 36 ハーディング         | 37 ハワイ     |
| 38 パン＝アメリカ会議 | 39 フーヴァー     | 40 フランクリン＝ローズヴェルト |            |
| 41 ホームステッド法  | 42 マッキンリー    | 43 メキシコ           | 44 メロン     |
| 45 モーガン      | 46 モーリス      | 47 モンロー           | 48 ロックフェラー |
| 49 ロンドン会議    | 50 ワグナー法     | 51 ワシントン会議        |            |

問2 下線部（a）に関連して、当時、中国人やインド人などのアジア系の移民は欧米人から何と呼ばれたか。その名称を解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問3 下線部（b）に関連して、独占禁止のために、1890年に制定された法律の名前は何か。その名称を解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問4 下線部（c）に関連して、この時、アメリカがスペインから獲得した地域のうち、下記の中から正しいものを全て選んで、解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

グアテマラ      グアム      ジャマイカ      ドミニカ      フィリピン      プエルトリコ

問5 下線部（d）に関連して、このカリブ海への力による積極的介入を正当化した外交は何と呼ばれたか。その名称を解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問6 下線部（e）に関連して、この時に、ニューディール政策の一環として失業保険や老齢年金などを規定した法律の名前は何か。その名称を解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問7 下線部（f）に関連して、自由放任主義の経済を批判し、政府による積極財政政策を理論化したイギリスの経済学者は誰か。その人物の名前を解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問8 下線部（g）に関連して、イギリス連邦内での特惠関税制度を設け、他国に対しては保護関税を取った経済ブロックを何と呼ぶか。その名称を解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

## Ⅲ. 次の文章を読み、下記の問いに答えなさい。

2017年は、ルイス＝フォンシとダディ＝ヤンキーがスペイン語で歌う「デスパシート」が世界的な大ヒットを記録し、日本の街中でもよく流れた。二人は、カリブ海にあるアメリカ合衆国の自治領 (77) (78) の出身である。彼らが音楽の世界で歴史を作ったように、<sup>(a)</sup>カリブ海諸島は、世界史において重要な役割を果たしてきた。簡単にその歴史を追ってみよう。

10世紀から11世紀にかけて北方から西ヨーロッパに侵入してイングランドなどを征服した (79) (80) 人が、アイスランド、グリーンランド経由で北アメリカにも到達したとされるが、それを別にすれば、ヨーロッパとアメリカの出会いの場はカリブ海だった。コロンブスが最初に上陸したのは、現在のバハマ諸島の (81) (82) 島である。当時、大陸部には、メキシコ高原に (83) (84) が、そしてアンデス高地には (85) (86) が栄えていたが、コロンブスを送ったスペインは、(87) (88) 島を拠点にして両地域の征服を進めた。

アメリカの発見・征服を主導したのは、1494年の (89) (90) 条約で世界を二分することを取り決めたスペインとポルトガルだったが、<sup>(b)</sup>17世紀以降、まずはオランダが、そして続けてイギリスとフランスも、アメリカにおける植民地獲得競争に参入していった。後発諸国が占領したのは、先発の二国による支配の手薄な北アメリカ北部と、南アメリカの沿岸部、そしてカリブ海諸島だった。17世紀から18世紀にかけて、ヨーロッパからアフリカに (91) (92) や雑多な工業製品を送り、アフリカからアメリカに奴隷を送り、アメリカからヨーロッパに砂糖や綿花や (93) (94) を送るという<sup>(c)</sup>大西洋三角貿易が盛んになった。その中で、カリブ海諸島は、ポルトガル領の (95) (96) と並んで、砂糖の主産地として重要な役割を果たしていたのである。砂糖の原料サトウキビの栽培と製糖作業には多くの労働力が必要だったため、大量の黒人奴隷がアフリカから輸入され、結果として、<sup>(d)</sup>スペイン人による征服の過程で先住民がほぼ絶滅に追い込まれていたカリブ海諸島では、黒人が住民の大半を占めるようになった。

(87) (88) 島の西部は17世紀末からフランス領となり、ここでもサトウキビ栽培が拡大していたが、<sup>(e)</sup>18世紀末、黒人奴隷による独立運動が起こり、1804年に (97) (98) として独立が達成された。ヨーロッパ諸国は、そのような動きが他の植民地に広がることを恐れ、独立を目指す現地の白人支配層と妥協した。1810年代から1820年代にかけて、大陸部のスペイン植民地でも、(99) (100) が南アメリカ北部で、(101) (102) がメキシコで独立運動を率いた。それらの運動には黒人奴隷や (103) (104) と呼ばれる先住民も関わったが、ヨーロッパ人に代わって独立達成後のラテンアメリカ社会の支配層となったのは、(105) (106) と呼ばれる現地生まれの白人だった。

ラテンアメリカ・カリブ海地域の多くは、19世紀末から20世紀初頭にかけて、世界最大の工業国となったアメリカ合衆国によって軍事的あるいは経済的に支配されてしまうが、<sup>(f)</sup>それに対するその後の抵抗も激しかった。その最たるものが1959年のキューバ革命である。キューバでは、合衆国資本と結んだ (107) (108) による独裁が1940年代半ばから続いており、革命を主導した (109) (110) は、政権を奪取すると、合衆国系企業を接収して国有化し、1961年にキューバは社会主義国となった。キューバ革命の影響は他のラテンアメリカ諸国にも及び、1970年には (111) (112) で史上初めて選挙によって社会主義政権が誕生し、1979年には (113) (114) で40年に及ぶ支配を続けた親米独裁政権が革命によって打倒された。キューバは現在でも、<sup>(g)</sup>ラテンアメリカにおける反帝国主義のシンボルであり続けている。

問1 文中の空欄 (77) (78) ～ (113) (114) にあてはまる最も適当な語句を下記の語群から選び、その番号を解答用紙A（マークシート）の解答欄 (77) ～ (114) にマークしなさい。

《語群》

- |             |           |            |             |
|-------------|-----------|------------|-------------|
| 11 アジェンデ    | 12 アステカ王国 | 13 アルゼンチン  | 14 イスパニョーラ  |
| 15 イダルゴ     | 16 インカ帝国  | 17 インディオ   | 18 エルサルバドル  |
| 19 カストロ     | 20 生糸     | 21 クシュ王国   | 22 クリオーリョ   |
| 23 ケルト      | 24 胡椒     | 25 サンサルバドル | 26 サン＝マルティン |
| 27 シモン＝ボリバル | 28 ジャマイカ  | 29 スラヴ     | 30 ソモサ      |
| 31 タバコ      | 32 茶      | 33 チリ      | 34 ディアス     |
| 35 トルデシリャス  | 36 ニカラグア  | 37 ノルマン    | 38 ハイチ      |
| 39 バティスタ    | 40 プエルトリコ | 41 武器      | 42 ブラジル     |
| 43 ベネズエラ    | 44 マデロ    | 45 マヤ文明    | 46 ムラート     |
| 47 メキシコ     | 48 メスティソ  | 49 リスボン    | 50 ローマ      |

問2 下線部（a）に関連して、バハマ諸島と大アンティル諸島と小アンティル諸島から構成されるカリブ海諸島は、一般に何と呼ばれるか。その名称を解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問3 下線部（b）に関連して、オランダは現在のニューヨークを北アメリカ植民地の中心都市としていたが、当時その都市は何と呼ばれていたか。その名称を解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問4 下線部（c）に関連して、大西洋三角貿易はヨーロッパにどのような社会経済的影響を与えたか。その内容を解答用紙Bの所定の欄に40字以内で記述しなさい。

問5 下線部（d）に関連して、スペイン植民地における先住民に対する虐待を告発した聖職者は誰か。その人物の名前を解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問6 下線部（e）に関連して、その運動を主導しフランスで獄死した人物は誰か。その人物の名前を解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問7 下線部（f）に関連して、ある国では、合衆国系企業の接収などの改革を行った左派政権が、1954年に合衆国の工作したクーデターによって打倒された。その国の名前を解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問8 下線部（g）に関連して、キューバ革命やラテンアメリカ各地の革命運動を指揮し、ボリビアで暗殺されたアルゼンチン人は誰か。その人物の名前を解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。